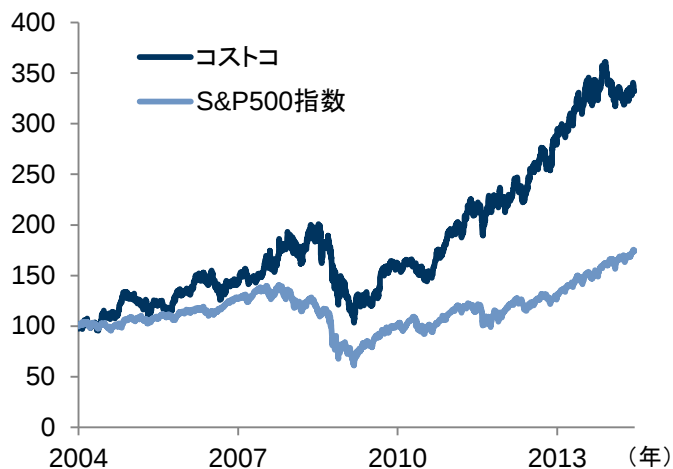


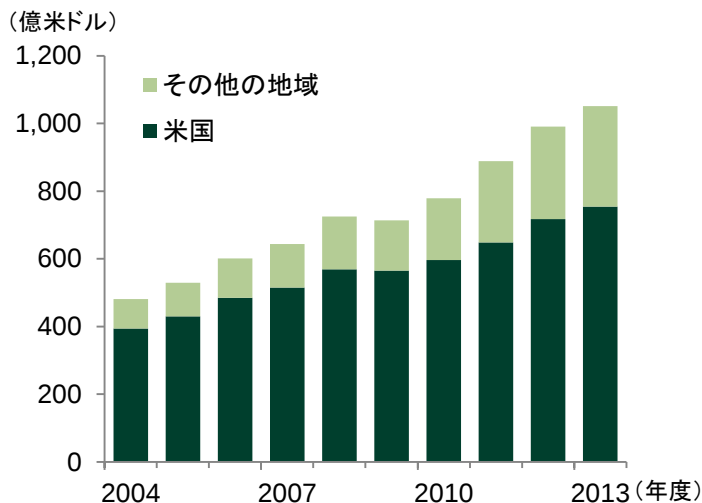
米国株式 個別企業のご紹介

コストコ・ホールセールのご紹介

株価の推移



売上高の推移



成長著しい会員制倉庫型店

- コストコ・ホールセール(以下コストコ)は、会員制の倉庫型小売店を手掛ける小売業者です。消費者は年会費を支払うことでコストコ・メンバーになることが出来、食品や衣料、自動車用品などの様々な商品ができる限りの低価格にて※1購入することができます。
- 1983年に米国ワシントン州シアトルにおいて第1号店舗を開業して以来、現在では世界中に651店舗※2、会員数7,120万人※3を有しており、日本においても全国20店舗※3を運営しています。

※1:コストコ・ホームページによる、※2:2014年6月1日時点、※3:2013年9月1日時点

海外の売上成長が利益成長をけん引

- コストコの売上高は堅調に拡大を続けており、特に米国以外の地域において、2004年度以降年平均15%の勢いで成長しています。(同期間の米国における成長率は年平均7%)
- 米国以外の店舗の営業利益率の水準は、米国内の水準よりも高く(2013年度は米国2.4%に対してその他地域4.2%)、米国以外の地域の売上成長は、収益性の向上により大きな影響を与えます。2013年度における営業利益の海外比率は40%以上でした。

今後の見通し

- コストコは会員制倉庫型店という独自のビジネスモデルを確立しており、コストコ・メンバーは年会費を支払っている分、来店頻度を高めようとするため、他社からの参入障壁は高いとみています。また年会費による収益は継続的かつ高い利益率をもたらしますが、年会費を引き上げてもコストコ・メンバーの更新率は依然として高く、これは消費者がコストコにおける独特な消費体験を楽しんでいるからだと思われます。
- 当社ではコストコは今後も会員数増加と来店頻度を高められると考え、また今後の海外店舗の拡大が利益成長をけん引していくものと見ています。同社の持つ質の高い成長性を鑑みると、現在のバリュエーションは魅力的な水準にあると考えます。